

「かわいい」の理解：日米共同のロボット設計・開発・感性評価の事前学習

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年02月20日 ～2023年02月27日	日本	デポー大学	・情報工学科、電気電子情報工学専攻、先進国際課程、デザイン工学科、機械工学科 ・学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生、学部2年生	(芝浦工業大学) 学生11名、学生バイト5名、教員5名 (デポー大学) 学生4名、教員2名	大倉 典子(SIT総合研究所)、SRIPIAN PEERAYA(先進国際課程)、LAOHAK ANGVAVIT TIPORN(先進国際課程)、野田 夏子(デザイン工学科)、菅谷 みどり(情報工学科)



図1 メタバースでの修了書の授与における観客席側の様子

本gPBLは、本学と米国のDePauw Universityの連携によるgPBLで、本学が主導し、オンラインで実施した。対象は、2023年6月に実施予定のgPBLの参加予定者及びそれ以外の学生で、事前学習の意味も持つ。

実施内容は、以下のとおりである。

- 日本の「かわいい」文化の発信源である原宿、渋谷、秋葉原、浅草などを本学の学生がグループで訪問し、ビデオを作成する。
- 双方の学生がビデオを視聴して、意見交換により、「かわいい」という感性価値への理解を深め、それに基づきビデオを改善するというサイクルを3回まわし、その結果として個人・国籍・性別による多様な価値観を学ぶ。
- DePauw Universityの学生の作成したビデオについても意見交換する。

なお学生には、日誌と共に、日本語の「かわいい」と英語の“cute”の違いについて事後レポートを提出してもらった。



図2 フィールドトリップ中のスナップ



図3 最終プレゼンのタイトル画像1



図4 最終プレゼンのタイトル画像2



図5 メタバースでの修了証の授与